取扱説明書改訂について

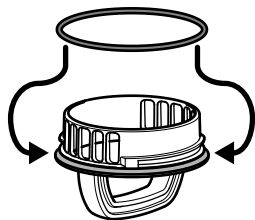
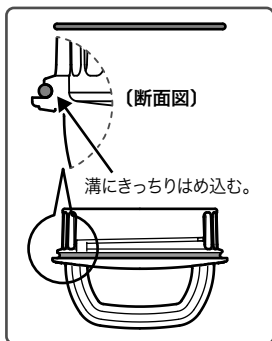
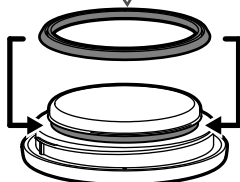
PIT12ZZ401B-E1

品質向上と安全の為、部品形状を一部変更し、使用時の注意事項を追加しました。
「お手入れの方法」や**「正しい使い方」**をご覧の際は、下記内容を参照してください。

お手入れの方法　中栓パッキンの形状を変更しました。

キャップパッキン

〔付け方〕

・キャップパッキンをキャップ本体の溝にきっちりはめ込む。

中栓パッキン

〔付け方〕

・中栓パッキンの平らな面を中栓側にして溝にきっちりはめ込む。

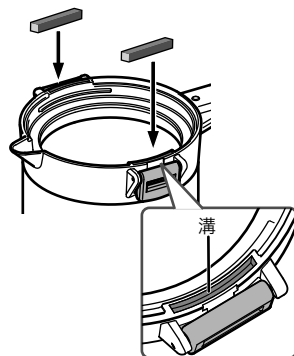
※上下を間違えないよう注意してください。漏れの原因になります。

バックルパッキン

〔外し方〕

・バックルパッキンを外すときは、つまようじ等の先の細い物を使う。(金串等は使わない)

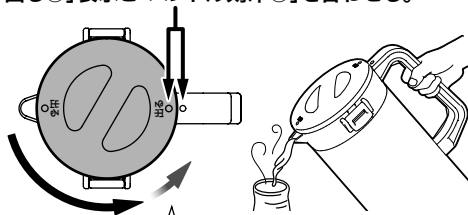
〔付け方〕

・バックルパッキンを保温ケースの溝に奥まできっちりはめ込む。

ハンディポットとして使う場合　安全にお使いいただく為の注意事項を追加しました。

❺ 飲料物を注ぐ。

・中栓の「出る○」表示を「ハンドル刻印○」に合わせて矢印の方向にゆるめ、注ぎ口をゆっくり傾けて注ぐ。

[注意]　熱湯を入れたときは、急激に傾けたり、ゆすったりしない。湯が飛び散りやけどをする恐れがあります。
湯の出方が悪いときは、中栓をもう少し緩めて調節してください。
緩め過ぎると、注ぎ口以外の所から飲料物が出たり、注ぐときに中栓が外れてやけどや他のものを汚す原因になりますので充分注意してください。

「出る○」表示と「ハンドル刻印○」を合わせる。

出方が悪いときは、少し緩めて調節する。

品番 **PIT型** 真空断熱ピッチャー

真空断熱ピッチャー 露(つゆ)しらず

取扱説明書

このたびは、オルゴ真空断熱ピッチャーをお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読みください。
お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合な点が生じた場合はお確かめください。

※ご使用の前に、必ず各部品が揃っている事をご確認ください。

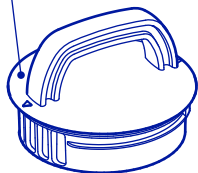
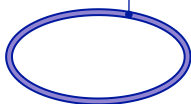
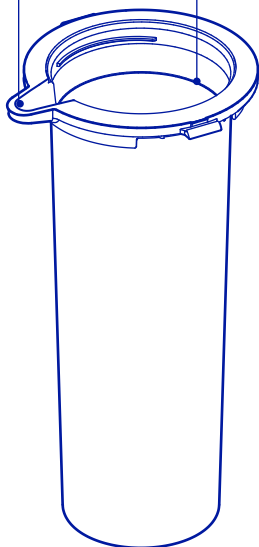
ステンレス製まほうびん構造 保温 保冷

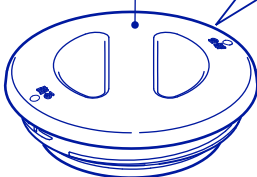
PIT12ZZ401B

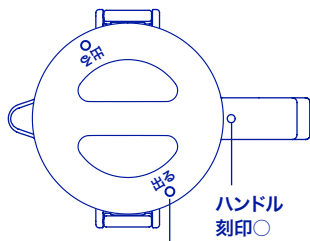
各部の名称とはたらき

ピッチャーセット（保冷専用）

【キャップ】

キャップ本体

キャップパッキン

【ピッチャー容器】

中栓（保温・保冷）

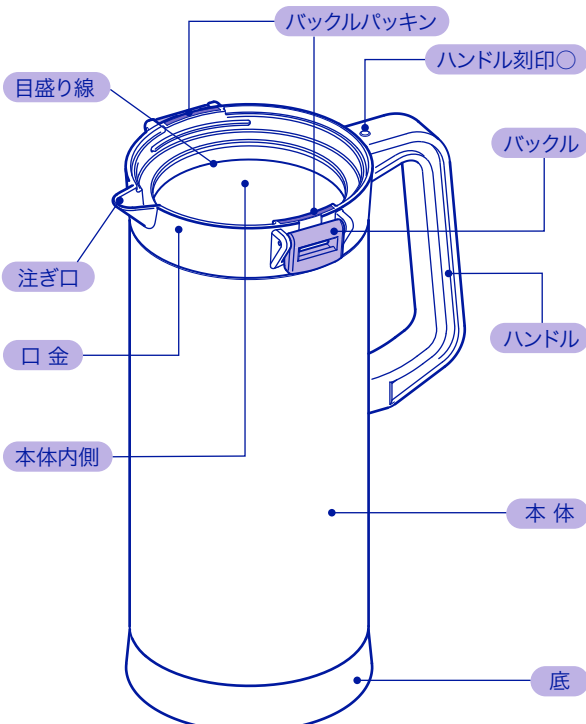
中栓本体

中栓パッキン

中栓の表示

ハンドル刻印○

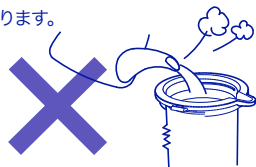
「出る」刻印○

飲料物を注ぐときは、この表示を「ハンドル刻印○」に合わせます。

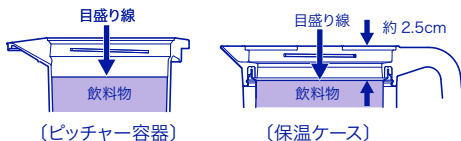
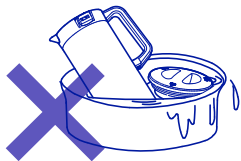
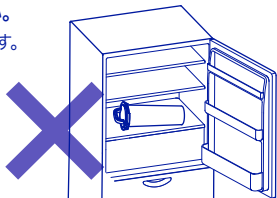
保温ケース（保温・保冷）

※品質向上・改良のため、予告なく機構、デザイン等を変更する事がありますので、ご了承ください。

必ずお守りください。

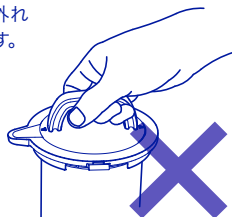
●**乳幼児の手の届く所には置かない。いたずらには充分注意する。**
やけどやけがの原因になります。

●**ピッチャーセット（保冷専用）には熱い飲料物は入れない。**
変形や故障の原因になります。

●**ストーブやコンロなどの火のそばに近づけない。また、直射日光のあたる場所におかない。**
漏れや変色・変形・破損の原因になります。

●**飲料物を入れたときは、横転させない。また倒したり落としたりぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えない。**
変形して保温・保冷効力が損なわれたり、飲料物が出て他のものを汚したり、破損する原因になります。

●**飲料物は目盛り線の位置以上は入れない。**
入れ過ぎると、キャップ及び中栓をしめたときに飲料物があふれる恐れがあります。

●**保温ケース・中栓の丸洗いや、つけ置き洗い（水中に放置）は絶対にしない。**
水が侵入し、サビが発生する事により、保温・保冷効力が損なわれたり、印刷・塗装のはがれ、他のものを汚す原因になります。

●**ピッチャーセットを冷蔵庫に保存する際は、横転させたり、横置きにしない。**
飲料物がこぼれます。

●**ピッチャーセットを冷凍庫に入れない。**
●**保温ケースを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。**
変形や故障の原因になります。

●**持ち運びは必ずハンドルを持つ。キャップや中栓を持ったり横にして持たない。**
飲料物の漏れ、やけどや他のものを汚す原因になります。
移動時は立てた状態で運んでください。

●**キャップを持って持ち運ばない。**
キャップがゆるんで外れる恐れがあり危険です。

●この製品は、飲料物を入れての保温・保冷を目的としたものです。
●漏れやあふれは、やけどや他のものを汚す原因になります。
●ご使用になるときは、やけどや飲料物の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

●保温ケースに次のものは絶対に入れない。(ハンディポットとして使用する時)

■ドライアイス・炭酸飲料や牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

成分に含まれる炭酸ガスや、腐敗により発生したガスにより、内圧が上がり飲料物が吹き出したり、中栓が開かなかったりする恐れがあります。

■みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、長時間放置したり、成分が付着したままになっているとサビが発生し、保温・保冷効力が損なわれる恐れがあります。

■果肉・お茶の葉

詰まったり、漏れの原因になります。

●本製品は卓上用として使用し、自転車や自動車に乗せて運ばない。

事故ややけどの原因になり非常に危険です。また、車内や他のものを汚す原因になります。

●中栓にパッキンが取り付けられている事を確かめ、確実に締めて使用する。

パッキンが取り付けられていなかったり、中栓の締め方がゆるいと漏れの原因になります。

●飲料物はその日のうちに飲みきる。また飲料物を入れたまま、長時間放置しない。

腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、飲料物が吹き出したり、破損する恐れがあります。

●使用後はキャップ・ピッチャー容器・中栓・本体内側をよく洗う。

●熱湯での洗浄や煮沸洗浄、食器洗浄機や食器乾燥機は使用しない。

熱により部品が変形し、漏れ等故障の原因になります。

●シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤などは使用しない。

傷がついたり、破損の原因になります。

●飲料物の保温・保冷以外の用途に使用しない。

●お客様での分解修理は絶対にしない。

事故や故障の原因になります。

使用上のご注意とお願い

●落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。

破損・変形・温度不良・故障の原因になります。

●氷を入れるときは、先に飲料物を入れ、静かに入れてください。また、氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてください。

●熱いやかんをプラスチック部分に触れさせないでください。

傷や変形の原因になります。

●熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色がかわる事があります。保温ケースにはお湯を入れ、お茶のときは急須等をご使用ください。

●お茶、または糖分・塩分を含んだものを入れて使用した後は、充分にお手入れしてください。

●ピッチャーセットを保温ケースに挿入するときは、バックルで確実に固定してください。

注ぐときにピッチャーセットが脱落する恐れがあります。

●中栓のゆるめ過ぎは、充分に注意してください。

注ぐときに中栓が外れ落ちたり、注ぎ口以外のところから飲料物があふれ出てやけどや他のものを汚す原因になります。

正しい使い方

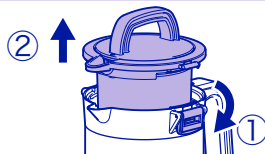
●初めて使うとき。

保温ケース・中栓・ピッチャーセットをぬるま湯等で洗い、清潔にお使いください。

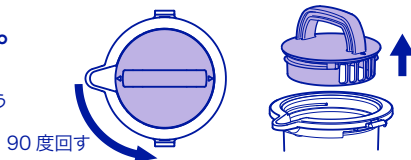
真空断熱ピッチャーとして使う場合　保冷専用

冷蔵庫で冷やしたピッチャーセットを保温ケースに入れる事で、結露を防止し長時間の保冷が可能です。

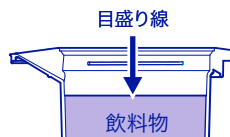
❶ ピッチャーセットを取り外す。

① 両サイドのバックルを外す。
② ピッチャーセットを抜き取る。

❷ ピッチャー容器からキャップを取り外す。

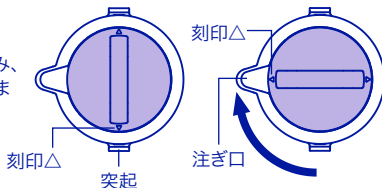
・キャップを矢印の方向へ90度回して外す。

[注意] 飲料物が入っているときは、ピッチャー容器を傾けないよう立てた状態で外してください。

❸ ピッチャー容器に飲料物を入れる。

・飲料物をピッチャー容器内側の目盛り線まで入れる。

[注意] 入れすぎると、キャップを閉めたときに飲料物があふれ出て他のものを汚す原因になります。※**熱湯は絶対に入れないでください。**

❹ ピッチャー容器にキャップを取り付ける。

・ピッチャー容器両側の突起と、キャップの「刻印△」を合わせてはめ込み、矢印の方向に90度回し、キャップの「刻印△」が注ぎ口の位置で止まるまで確実に締める。

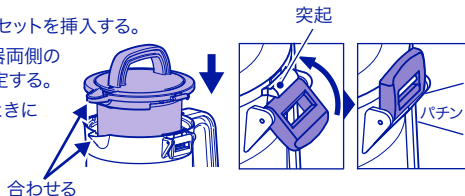
[注意] キャップがしっかり締まっていないと、注ぐときにキャップが外れ飲料物があふれ出る恐れがあります。

❺ ピッチャーセットを冷蔵庫に入れて冷やす。

・ドアポケットなどに立てた状態で固定し、飲料物が適温になるまで冷やす。

[注意] 冷蔵庫では横転させたり横置きにしないでください。飲料物が漏れます。ピッチャーセットは密閉構造ではありません。また、冷凍庫で凍らせないでください。

❻ ピッチャーセットを保温ケースに挿入し、バックルで固定する。

・ピッチャーセットと保温ケースの注ぎ口を合わせてピッチャーセットを挿入する。
・両サイドのバックルを矢印の方向に反転させてピッチャー容器両側の突起にパチンと音がするまではめ込み、ピッチャーセットを固定する。

[注意] ピッチャーセットが確実に固定されていないと、注ぐときにピッチャーセットが脱落する恐れがあり大変危険です。

❼ 飲料物を注ぐ。

・ハンドルを持ってゆっくり傾けて注ぐ。

[注意] 本体を急に傾けると飲料物が勢いよく飛び出したり、注ぎ口以外のところからあふれ出て他のものを汚す原因になります。ピッチャーセットは密閉構造ではありません。転倒などにご注意ください。

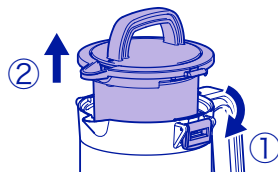
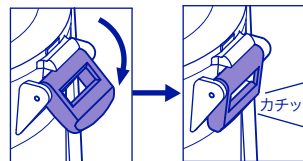
保温ケースと中栓の丸洗いや付け置き洗い（水中に放置）はしないでください。材料特有のにおいがする場合は、お手入れの方法に従って洗浄してください。パッキン及び、各部品が確実に付いている事を確認してください。

ハンドィポットとして使う場合 保温・保冷

ピッチャーセットを使用せずに付属の中栓に付け替える事で、ハンディポットとしても使用できます。

❶ ピッチャーセットを取り外す。

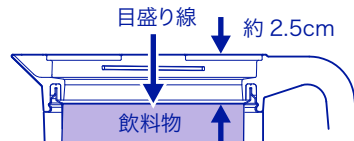
① 両サイドのバックルを外す。
② ピッチャーセットを抜き取る。

❷ バックルを固定する。

・バックルを矢印の方向に反転させて、カチッと音がするまではめ込み口金に固定する。

❸ 保温ケースに飲料物を入れる。

・飲料物を、保温ケース内側の目盛り線まで入れる。

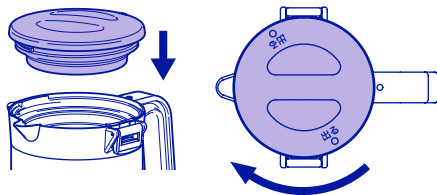
[注意] 飲料物は図の目盛り線以上は入れないでください。入れすぎると、中栓を締めたときに飲料物があふれ出て、やけどや他のものを汚す原因になります。

目盛り線　約 2.5cm

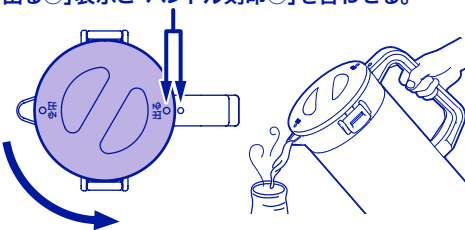
飲料物

飲料物を入れる前にあらかじめ少量の熱湯（保温の場合）または冷水（保冷の場合）を入れ、約1分ほど予熱・予冷しておくとより効果的です。

❹ 保温ケースに中栓を取り付ける。

・中栓が止まる位置まで矢印の方向へ回し、確実に締める。

[注意] 中栓が傾いていたり、しっかり締まっていないと飲料物が漏れ、やけどや他のものを汚す原因になりますので、中栓の状態をよく確認してください。

❺ 飲料物を注ぐ。

・中栓の「出る○」表示を「ハンドル刻印○」に合わせて矢印の方向にゆるめ、注ぎ口をゆっくり傾けて注ぐ。

[注意] 中栓をゆるめ過ぎると、注ぐときに中栓が外れる恐れがあるので、右図の位置以上にゆるめない。また、注ぎ口以外のところから飲料物があふれ出て、やけどや他のものを汚す原因になります。

お手入れの方法 1

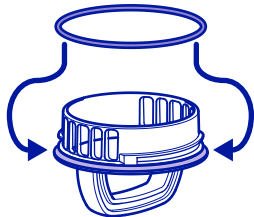
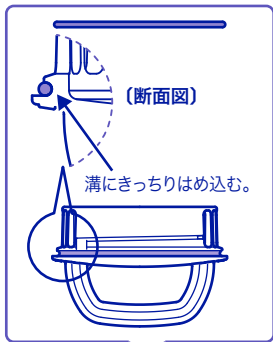
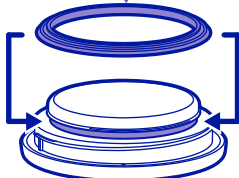
●ピッチャー容器や保温ケースに残った飲料物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただく事が、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
●お手入れをおこたったり、飲料物を長い間入れたままにしておきますと、汚れが落ちにくくなります。
●食器洗浄機・食器乾燥機などは使用しないでください。傷やサビ、熱による変形、漏れや故障の原因になります。
●シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、みがき粉、たわし、クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や塩素系漂白剤は使用しないでください。傷がついたり、変形・変色、破損の原因になります。
●スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
●お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、充分にお手入れをしてください。

パッキン(ゴム製部品)について

この製品には3種類のパッキン(ゴム製部品)が取り付けられています。お手入れの際は、下記手順に従って、各パッキンを正しく付け外ししてください。パッキンが正しく取り付けられていないと、漏れなどの原因になります。また、お茶・コーヒー等の濃い色の飲料物を入れると、パッキンは着色します。汚れが目立ってきたりゆるくなってきましたら交換をおすすめします。

パッキンの取り付け方

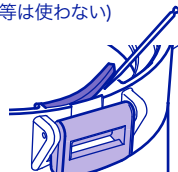
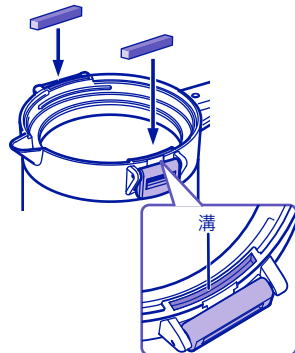
キャップパッキン

〔付け方〕
・キャップパッキンをキャップ本体の溝にきっちりはめ込む。

中栓パッキン

〔付け方〕
・中栓パッキンの平らな面を中栓側にして溝にきっちりはめ込む。

※上下を間違えないよう注意してください。漏れの原因になります。

バックルパッキン

〔外し方〕
・バックルパッキンを外すときは、つまようじ等の先の細い物を使う。(金串等は使わない)

〔付け方〕
・バックルパッキンを保温ケースの溝に奥まできっちりはめ込む。

※各パッキンは消耗品です。一年をめやすにご確認ください。汚れが目立ってきたり消耗のある場合は、品番・パーツ名をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社お客様相談室までご連絡いただくか、当社ホームページのお客様サポート(消耗品パーツの購入)よりお買い求めください。

お手入れの方法 2

ピッチャーセット・中栓

①キャップと中栓に取り付けられている各パッキンを外しお手入れしてください。
パッキンを傷つけたり、なくさないようご注意ください。

②お湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、水分を拭き取って充分に乾燥させてください。中栓のつけ置き洗い（水中に放置）はしないでください。

③お手入れの後は、各パッキンを正しく取り付けてください。
注ぎ口等が汚れていたり異物が付着したままになっていると、漏れの原因になりますので、注ぎ口等の汚れをきれいに拭き取ってください。

本体内側

・ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤をスポンジに含ませ、ていねいに洗ったあと、流水でよくすすぎ、水分を拭き取って充分に乾燥させてください。つけ置き洗い（水中に放置）はしないでください。

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、水質や水の中の不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着する場合があります。このような場合は、市販のクエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめて入れ、約2～3時間放置した後柔らかいブラシなどできれいに洗い、水で充分にすすいでください。

本 体・口 金

・布（台所用中性洗剤を入れた水に浸し固くしぼったもの）で拭き取ってください。丸洗いやつけ置き洗い（水中に放置）はしないでください。

こんなときは…

長期間使用しないとき	・ピッチャーセット・中栓・保温ケースなどの汚れを落とし、乾いた布で拭き自然乾燥させてください。
中栓から飲料物が漏れる（ハンディポット時）	・各パッキンの取り付け方向や位置、浮きがないか確認してください。 ・中栓、各パッキンが汚れていないか確認してください。 ・飲料物を入れすぎていないか確認してください。
ピッチャーセットや保温ケースからにおいがする	・ピッチャー容器やキャップ、保温ケース内側や中栓に汚れが付着していないか確認してください。
保温・保冷がきかない	・保温ケースが破損、変形していないか確認してください。 ・充分に熱い（冷たい）飲料物を入れているか確認してください。保温ケース内側を予熱（予冷）をすると効果的です。 ・ピッチャー容器や保温ケース内の飲料物の量が少なくないか確認してください。飲料物の量が少ないと、保温・保冷効力が弱くなります。
緑茶などが赤茶色に変色した	・お早めにお飲みください。お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色が変わる事がありますが、人体に害はありません。

※ピッチャー容器の表面に、線状及び波状の模様が見える場合がありますが、プラスチック成型時に発生するもので、ご使用の品質に支障はございません。

お問い合わせ先

お問い合わせ品番	PIT型

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点や故障などがございましたら、使用を中止してお求めの販売店、または当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、製品名・本体底部に記載されている品番をお確かめください。

お客様相談室

TEL：06-6961-5885　FAX：06-6969-6692
受付時間 ： 9：00 ～ 17：00 (土 ・ 日 ・ 祝日 ・ 年末年始等を除く)
ホームページからもお問い合わせいただけます。➔ http://www.allgo.co.jp

オルゴ株式会社　本社　〒538-0044　大阪市鶴見区放出東（ハナテン）1-4-2